



長野県感染症情報(週報)

《情報編》

2026年(令和8年)
第29週
(2026年7月13日～
2026年7月19日)

主な発生動向

○手足口病

手足口病の報告数は前週から増加しました(前週:5.36人/定点→今週:10.57人/定点)。

2歳以下の発生が全体の約80%を占めており、乳幼児を中心とした流行が確認されています。

手足口病は、夏季に流行するウイルス性の感染症で、口の中、手のひら、足底や足の甲などに2～3mmの水疱を伴う複数の発疹が現れる感染症です。

主な感染経路は飛沫感染・接触感染・経口感染のため、トイレやおむつ交換の後、食事前には石けん・流水による手洗いを心掛け、タオルの共有を避ける、咳エチケットなどの感染対策に努めましょう。

特に、保育施設や幼稚園等の乳幼児の集団生活では、感染を広げないために、感染対策を心掛けましょう。

また、手足口病は治った後も長期間(2～4週間)、便中にウイルスが排泄されるため、日頃からの手洗いが大切です。

○感染性胃腸炎

感染性胃腸炎の報告数は前週から横ばいでした(前週:4.57人/定点→今週:4.82人/定点)。

ウイルスや細菌などの病原体が原因となる感染症(夏季は細菌などが原因となることもあります)で、嘔吐や下痢などの症状が現れます。

主な感染経路は接触感染と経口感染のため、調理前後や食事の前、トイレやおむつ交換の後には、石けんと流水による手洗いを心掛け、感染予防に努めましょう。

また、体調不良時は無理をせず、周囲への感染拡大防止に努めましょう。

○ダニ媒介脳炎

ダニ媒介脳炎が1例発生しました。

詳細は、令和8年(2026年)7月21日プレスリリースをご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/happyou/0721press.html>

全数把握感染症

類型	報告疾患・報告数
一類感染症	なし
二類感染症	潜在性結核感染症1例
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症2例
四類感染症	ダニ媒介脳炎1例、 レジオネラ症1例
五類感染症	アメーバ赤痢1例、侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒3例、播種性クリプトコックス症1例

定点把握感染症

◆定点当たりの報告数(今週の主な感染症)

感染症名	今週	前週比	1週前	2週前
手足口病	10.57	197.2%	5.36	3.50
感染性胃腸炎	4.82	105.5%	4.57	5.11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.46	102.9%	2.39	3.18
流行性角結膜炎	1.60	106.7%	1.50	1.00
ヘルパンギーナ	1.36	146.2%	0.93	0.50
急性呼吸器感染症(ARI)	59.12	114.5%	51.64	50.92

○速報値のため今後の集計で変更が生じることがあります。

○厚生労働省「手足口病」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

○厚生労働省「感染性胃腸炎(特にノロウイルス)」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/norovirus.html

○第30週は、7月29日(水)発行予定です。

(問合せ先)

担当 長野県健康福祉部疾病・感染症対策課

中沢、山口

電話 026-235-7148(直通)

026-232-0111(代表) 内線 4135

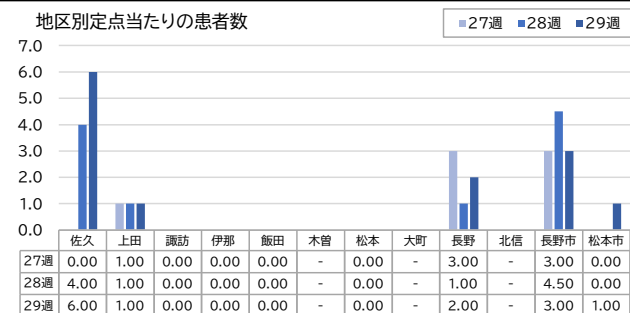
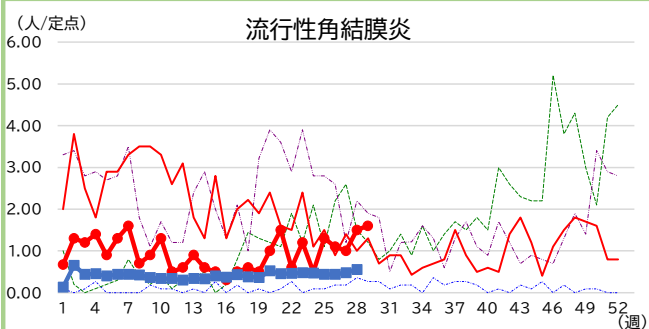
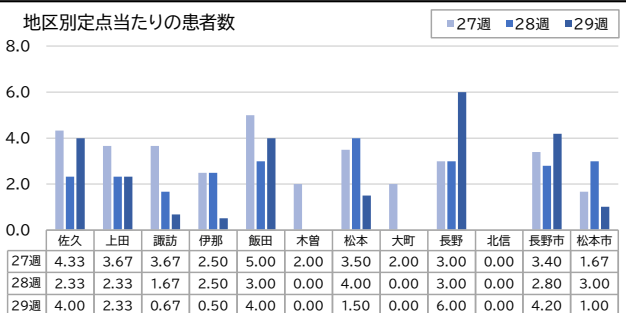
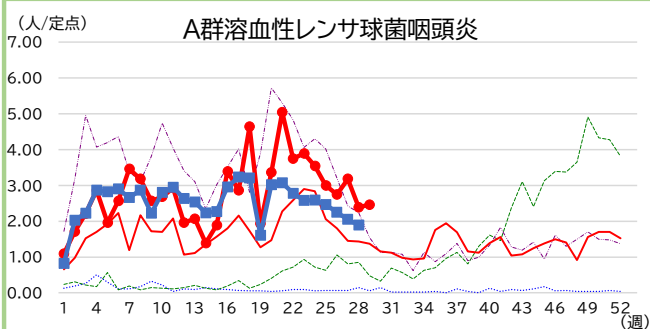
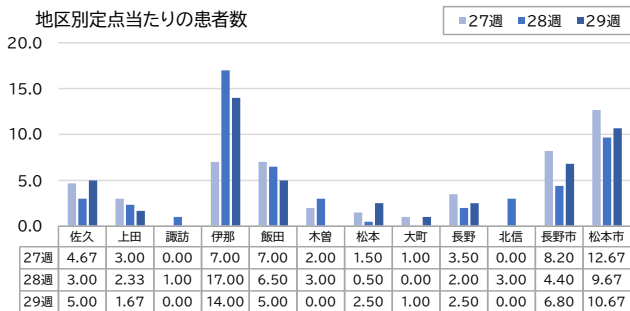
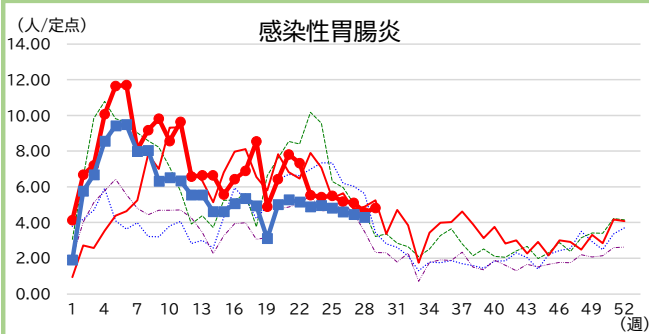
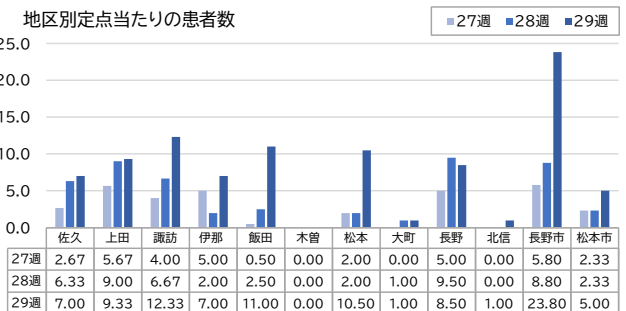
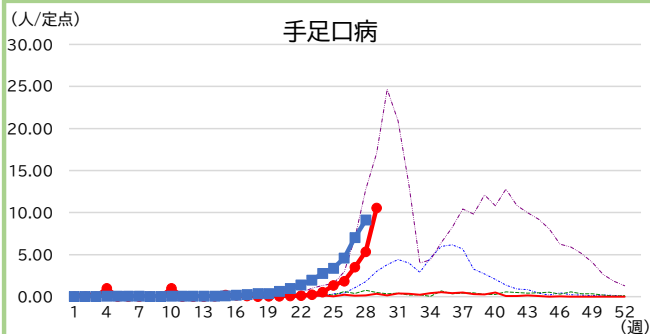
ファクス 026-235-7334

Email kansen@pref.nagano.lg.jp

注意が必要な感染症の推移

定点把握疾患4疾患

— 県2022 — 県2023 — 県2024
— 県2025 — 県2026 — 国2026



急性呼吸器感染症(ARI)の推移

